



## 令和5年度 研究対象授業決定

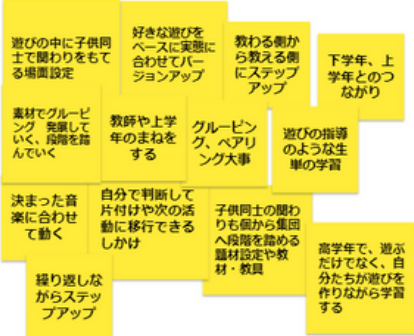
昨年度の研究成果と改善点から、今年度の研究の方向性を全校で確認しました。学部単位でシンプルに研究を推進したい、児童生徒の学びの積み重ねを学部職員で見取り共有したいなどの意見から、学部の授業づくりを中心に進めることに決まりました。今年度から中学部では、「職業・家庭科」が新設されます。教科を通しての縦のつながり、他教科等との横のつながり、他学年や他学部とのつながりなど「何を学んだか」「どのように学んだか」という学びのつながりについて検証していきます。

<研究対象授業 小学部 遊びの指導、生活単元学習 中学部 職業・家庭科 高等部 職業科>

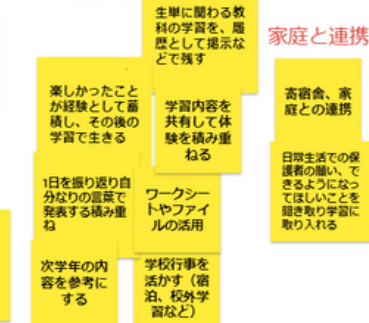
今回は、5月9日（火）に行われた全校研のワークショップで出された意見を紹介します。

### 小学部 遊びの指導、生活単元学習で「学びをつなぐ」ためには

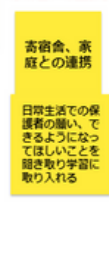
#### 遊びの指導では



#### 学びの積み重ね



#### 家庭と連携

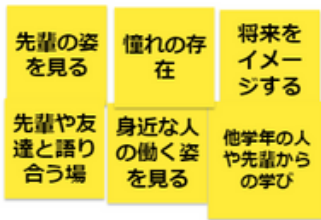


### アイディアのまとめ

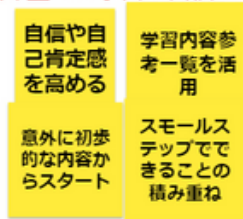
- ・集団を生かし、効果的なペアやグループングをする
- ・繰り返しの学習で安心感の中からレベルアップを目指す
- ・楽しい経験・体験を蓄積し、その後の学習に生かしたい
- ・ワークシートやファイルを活用し、学びを掲示、振り返りを言葉で発表する
- ・保護者の願いを聞き取り、学習に取り入れる

### 中学部 職業・家庭科で「学びをつなぐ」ためには

#### 先輩や身近な人から学ぶ



#### 積み重ねの学習で自信をもつ

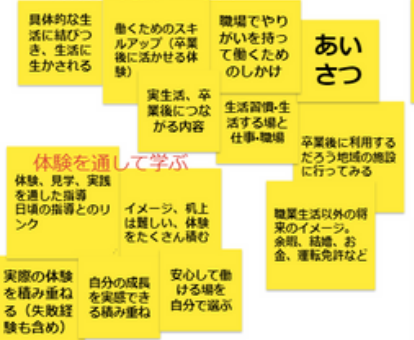


### アイディアのまとめ

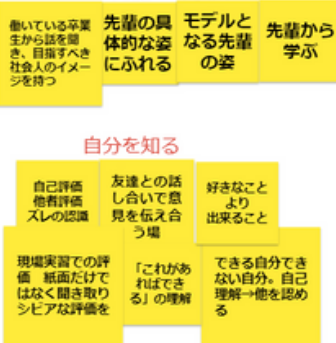
- ・将来をイメージするために、他学年や先輩から学ぶ機会を設定する
- ・簡単なことからスタートし、できることを積み重ねる
- ・自信をもち、自己肯定感を高められるように学習内容を工夫する

### 高等部 職業科で「学びをつなぐ」ためには

#### 卒業後を見据えた学習



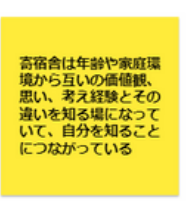
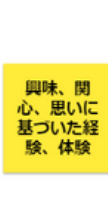
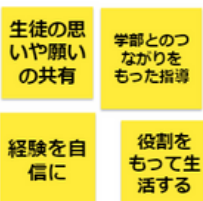
#### 先輩から学ぶ



### アイディアのまとめ

- ・様々な体験を積み、日頃の生活とリンクできたらよい
- ・卒業後を見据えて、学校でできることを経験、体験する
- ・働いている先輩から学び、自分の卒業後をイメージする
- ・自己理解を深めるために、自分のできること、苦手なことを知る
- ・自分の言葉で意見を伝える、相手の意見を聞き認める経験をする

### 寄宿舎 日常生活の指導で「学びをつなぐ」ためには



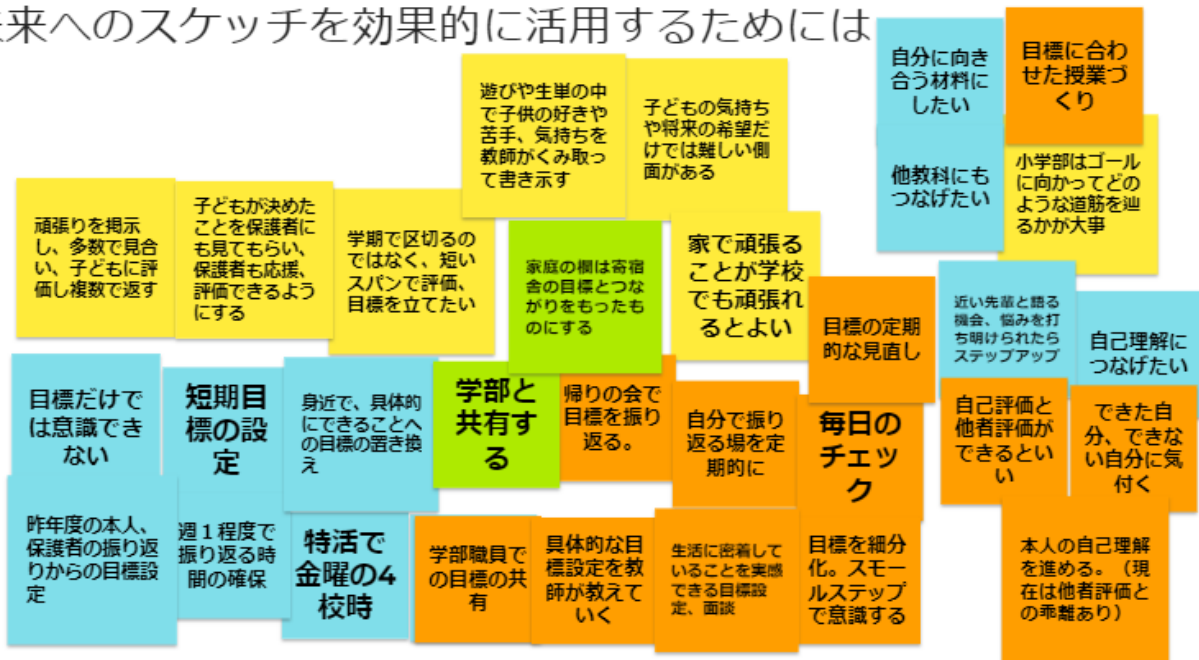
### アイディアのまとめ

- ・生徒の思いや願いを共有する
- ・学部とのつながりをもった指導をする
- ・興味・関心、児童生徒の思いや願いに基づいた様々な体験・経験をする

## 「未来へのスケッチ」を活用するために

本校では、「キャリア・パスポート」を「未来へのスケッチ」と名付け、令和4年度から全校で作成をしています。昨年度の反省から「児童生徒の思いや願いを大切に授業づくりをしたい」とあり、今回ワークショップをしました。どうしたら未来へのスケッチを活用できるのか、実際に活用してみて改善する部分はないかなど学部ごとにジャムボードにアイデアを出し合いました。出されたアイデアは以下のとおりです。

### 未来へのスケッチを効果的に活用するためには



小学部

中学部

高等部

寄宿舍

### 「未来へのスケッチ」を効果的に活用するためのアイデアのまとめ

#### 〈目標の設定方法〉

- ・短期目標を設定し、身近で具体的にできる目標を設定する
- ・目標だけでは意識できないため、振り返る時間を確保する（毎日、週1、月1など）
- ・家で頑張ることと学校で頑張ることが共有されているとよい
- ・学校の目標を寄宿舎と共有する
- ・担任との面談などを通して目標を定期的に見直す
- ・子どもの好きや苦手など気持ちをくみ取り、書き示す
- ・目標を細分化し、スモールステップで目標を達成する機会を増やす

#### 〈自分を知ること〉

- ・できた自分、できない自分を知り、自己理解につなげる
- ・他者から自分を評価されることで、自分を見つめ直し、自己理解につなげる
- ・友達、先輩などと語る機会を設定し、悩みなどを打ち明けてステップアップする

#### 〈授業とのつながり〉

- ・未来へのスケッチを作成することで、自分と向き合う時間にしたい
- ・目標に合わせた授業づくりと、他教科との関連を意識する
- ・児童生徒の実態に応じて目標を振り返る時間を設定する



たくさんのアイデアが出されました。今すぐにできること、児童生徒への効果が見えそうな方法、様式やシステムを整えることで改善できそうなことなど、より効果的に活用するための方向性が見えてきたと感じます。



秋田県立ゆり支援学校

